

The 2 Chome Times 2021年9月号

NO1のプレミアムストリートをめざして



NO280.

2021・9月・25日

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス9月号

編集：企画・商業振興部、編集長：芹澤邦明 <http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com



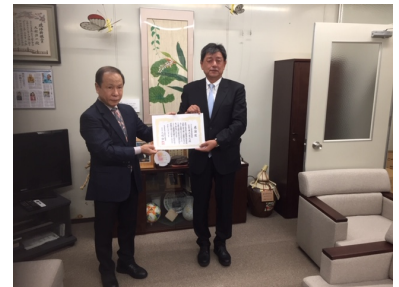
フェイスブックでも発信しています <https://www.facebook.com/centergai2/>



2丁目でも KOBE Free Wi-Fi ご利用いただけます

★つるかめ管財さん、ありがとうございます！

日頃から私達の街の美化推進に大変お世話になっているのが「つるかめ管財株式会社」さんです。ビル内は勿論、アートストリート構想を推進しているセンター街2丁目にとっては欠かすことの出来ない企業であり、その企業理念には頭が下がるばかりです。その「つるかめ管財」さんが私達の街で進めていて恒例となっている児童養護施設の子供さん達への沖縄研修プロジェクト「沖縄・夢未来号」や、今回、行われたセンタープラザ西館でのコロナワクチンの集団接種などについて深いご理解とご協力を頂いた上に、「街創り協議委員会」に御芳志を頂きました。それに対して感謝の気持ちをお伝えする意味で9月7日（火）にセンタープラザで代表取締役社長の井上寛之氏に街創り協議委員会の久利会長から感謝状が贈られました。井上氏は実直な方で「街衆の想いに共感し、お手伝いさせて頂きたいと思いました」と答えられ、感謝状に恐縮されていました。井上社長はそのお身体は大きいですが、周りへの配慮や心配りは本当に細やかでいつも私自身見習わないといけないなという気持ちにさせられます。私達の街はこういった素晴らしい皆様との繋がりがあり、幸運ですね。改めて井上氏と会社の皆様に感謝申し上げます。



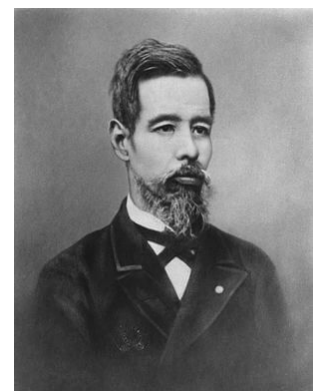
★第4弾メッセージタペストリーを掲出します～他策ナカリシヲ信ゼムト欲ス～

これまで3度にわたり、大型タペストリーで街からのメッセージを掲げてきました。一方、兵庫県には4度目の緊急事態宣言が発出され、「有事」「災害レベル」と言った、軽々しく発するべきではないような言葉が頻出し、言葉自体は重い意味を持たなくなっています。第4弾となるメッセージタペストリーは「他策ナカリシヲ信ゼムト欲ス」とありますが、これは激動の明治期の外務大臣「陸奥宗光(ムツムネミツ)氏」の著書「蹇々録(ケンケンロク)」で三国干渉について書かれた最終章に記された言葉を引用し、「寝食を忘れ、必死で考え抜き、自らの仕事を全うしようと考え続けている人々の想い」を示しています。

世界的な危機に面している現在ですが、国民の皆様と共にどうやって前進していくのかを模索していく上で、これが三宮センター街2丁目の街衆の想いであると同時に、ご通行される皆様の想いをも汲み取れるものになればと考えています。

※陸奥宗光(むつむねみつ)

- ・日本の武士(紀州藩士)、外交官、政治家。明治初期に行われた版籍奉還、廃藩置県、徴兵令、地租改正に大きな影響を与えた。
- ・カミソリ大臣と呼ばれ、第2次伊藤内閣の外務大臣として不平等条約の改正(条約改正)に辣腕を振るった。



★新店舗紹介 ザ・ブリティッシュバック誕生！

私達の街にイギリスのテイストと香りに包まれた素敵なお店が誕生しました。



その名も「The British Bag」さんです。9月2日にオープンいたしました。皆様へのご挨拶の言葉を頂戴しておりますのでご紹介いたします。「この度センター街3丁目から2丁目に移転してまいりました。イギリス人オーナーオリジナル&セレクトの本革かばん専門店となります。かばんはクラシックベースのデザインとなり、革染めの選定から製作まで独自に行っております。お客様の声を聞きながら英国クラシックのかばんを日本風にアレンジしております。その他日本未入荷の英国ブランド本革かばんもリーズナブルに取り揃えております。今年は英国より

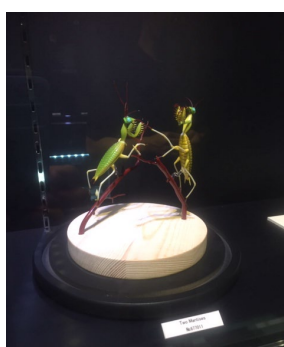


レザージャケットも多数入荷しておりますので、こちらもぜひご覧ください！」とのこと。実際に店内にあるバッグやジャケットを覗いているとロンドンの街中を散策するお洒落な人々が頭に浮かんできて、状況が許せばイギリスまで直ぐに飛んで行きたい気持ちになりました。皆様も是非一度このイギリスの風が香る素敵なお店までお越しください。The British Bag：〒650-0021 兵庫県神戸市中央区三宮町2丁目10-7 Tel.075-202-9762

営業時間：11:00～20:00 無休 HP:www.britishbag.com

★神戸とんぼ玉ミュージアム企画展「硝子の昆虫観察」そこはワンダーランド！

たまたま「とんぼ玉ミュージアム」で夏休みに絡めた「硝子の昆虫観察」という企画展が行われていること



を知り、とんぼ玉と昆虫がどういう形で結びつくのか興味が湧き、三宮にあるミュージアムに出かけました。この日は運よく館長の宮本さんに詳しい解説をして頂き、作品の理解がより深くなり、感激でした。ガラスを使っの植物や昆虫などの標本の歴史は古いのだそうですが、目の前にある作品の精巧さと色鮮やかさはまるで本物、いやそれ以上に昆虫の姿が生き生きと表現されていて、



まず単純に「これどうやってガラスで創るの？」が強烈な印象でした。宮本さん曰く「頭の中に作品の設計図があり、一発勝負で創られている」のだとか。常設展では古代ガラスの歴史とその作品、そして対となる現代作家の作品も紹介されており、2丁目のアートストリートでもお世話になる予定のガラス作家「松島 巖」氏の作品も展示されています。勿論、海外の作家の作品もあり、特にイタリアの作品は色も鮮やかで、同じくイタリア由来の神戸の風物詩となったルミナリエが頭に浮かんできます。是非、一度ご来館を！



KOBE とんぼ玉ミュージアム：神戸市中央区京町79 日本ビルディング2F Tel.078-393-8500

(企画展は10月5日(火)迄 入館料大人400円、子供200円) HP:lampwork-museum.com

★編集後記

センタープラザ西館での500名余りの集団接種が無事に終了しました。関係者各位には改めてお礼申し上げます。東京都などで行われている若年向けの集団接種では予想された通り混乱が起きましたし、運よく接種を受けられた方々のその幸運に胸をなでおろす様子が印象的でした。この度の成功裡に終わったセンター街2丁目における集団接種ですが、何も幸運だけがもたらしたプロジェクトではありません。ここには普段から人と人とのアナログ的な繋がりがあり、信頼と尊敬が基軸になっています。名芳病院の鄒(ツウオ)先生は子供さん達を沖縄への研修旅行にお連れする「夢未来号」にも帯同して下さいました。それはその大義にご賛同頂き、そのリーダーである久利会長との間で絶大な信頼感が存在するからです。このような人と人との関係性を重視する方向性を大事にしていきたいと思っています。